

3.11 メモリアルイベント 2024 特別フォーラム「ともに考えるこれからの伝承館」が開催されました (2024/3/17)

会 場：気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（宮城県気仙沼市）

2024年3月17日（日）、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館を会場に東北大学災害科学国際研究所コラボ企画として「3.11 メモリアルイベント 2024」特別フォーラム「ともに考えるこれからの伝承館～第3回市民協働推進状況報告～」が開催されました。同フォーラムは、熊谷心副館長より令和5年度の伝承館の取り組みの報告、当研究所の佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）から経緯説明、各プロジェクトチームによる活動報告がありました。同伝承館では、市民のみなさんから「伝承館でやりたいこと」を募り、それをプロジェクト化して、一つひとつ「モノにしていく」かたちをとっています。プロジェクトとしては目標を達成して終了となるものや、今後も継続するものもありました。

その後行われたワークショップでは、新たなプロジェクト設置に向けて「なっしてほしい伝承館」をテーマに積極的に意見が出されました。中高生からは、今までコロナの影響でやりたい事が思うようにできなかったが、今はそれができる嬉しさを感じると、活発に意見が出ました。アドバイザーとして芳賀一朗館長からは、語り部の確保、育成が重要であるという講評が、佐藤克美初代館長からは、開館当初考えていた事が少しずつ形になってきているという講評がありました。佐藤翔輔准教授からは、思った以上にたくさんのアイデアが出て皆さんの愛情を感じる事ができたとの講評がありました。最後に参加者から、これからも伝承館は続いていく、安心・安全でより多くの方が誰かを連れていきたくなるような場所にしたい、そして地域の方々に愛される伝承館を目指してこれからも伝え続けていきたいとの決意が語られました。

当日は、市内外から約30名の方が参加し、盛会のうちに終わりました。



佐藤翔輔准教授 経緯説明の様子



プロジェクトチーム報告の様子



ワークショップの様子



結果発表の様子

文責：小野寺 克江（気仙沼分室スタッフ）
担当教員：佐藤 翔輔（防災社会分野）